

第4回定例研究会

「生きる力をひきだす音楽の「遊び」

第4回定例研究会は、生活美学研究所・音楽学部共催により音楽家である梶原 徹也 氏をお招きし、「生きる力をひきだす音楽の「遊び」」というテーマで講演いただきました。

講師

梶原 徹也 氏（音楽家/サルサガムテープ/THUNDERBEAT/元 THE BLUE HEARTS ドラマー）

指定討論者

猪狩 裕史 氏（音楽療法士・名古屋音楽大学講師）

森岡 正芳 氏（臨床心理士・立命館大学教授）

コーディネーター

松本 佳久子（武庫川女子大学応用音楽学科准教授・生活美学研究所研究員）

テーマ

「生きる力をひきだす音楽の「遊び」

講演日

2017年2月4日（土）13:00～17:00 受付開始 12:30

研究会(13:00～15:00) 音楽療法ワークショップ(15:10～17:00)

13:00～14:00 講演「サルサガムテープの活動と経緯」

14:00～15:00 指定討論・討議・質疑応答

15:00～15:10 休憩

15:10～17:00 ワークショップ 会場参加者によるリズムセッション

※申し込み不要

場所

武庫川女子大学 学術研究交流館(IR)1階 101

※駐車場がございませんので、公共の交通機関をご利用ください

問い合わせ先

武庫川女子大学生生活美学研究所

TEL: 0798-67-1291



【講師プロフィール】

1963年、福岡生まれ。

大学生時代、ライブハウスのアルバイトでザ・ブルーハーツと出会い、1986年4月に正式加入。

モヒカンと黒のタンクトップをトレードマークに、パワフルな演奏で人気を博す。

解散後はThe 3peace、THE BIG HIPなどを経て、ソロユニット「THUNDERBEAT」を始動。

現在はサルサガムテープ、太陽ドラムでも活動し、社会貢献活動も積極的に行っている。



梶原徹也先生



パネルディスカッションの様子



ワークショップの様子